

支援団体部門：NPO法人プロジェクト南からの潮流（南さつま市）

1 団体の概要

「砂の祭典（南さつま市）を生かして、もっと地域おこしをしっかりと行いたい」という思いから設立され、平成13年にNPO法人の認証を受けた。

平成18年からは、失われつつある集落の仲間意識やふるさとの良さに触れるきっかけづくりを目的として、棚田での田植えや稲刈り体験等の都市住民との交流事業を始め、過疎化が進行する中においても、集落の活性化を図ろうとする地域に対し、集落と協働してむらづくり活動に継続的に取り組んでいる。

2 むらづくりに関する主な功績

過疎化が進行する中においても、集落の活性化を図ろうとする地域に対し、自ら直売所の建設・運営や特産品開発のノウハウ伝授を行うなど、農村集落と協働でむらづくり活動に継続的に取り組んでいる。

また、南からの潮流の取組がきっかけとなり、鹿児島大学のボランティアサークル「Free Spot」が設立されるなど、若い世代のむらづくりの人材育成にも大きな功績がある。

これまでの貢献の概要

<集落の活性化>

・ 長谷集落での取組

平成18年頃から、集落の活性化に取り組む南さつま市長谷集落と協働して、地域資源を活用した体験を通じた都市住民との様々な交流活動を展開している。

また、地域の要望に応じて、交流施設の整備を支援するとともに、地域農産物や生活用品を扱う直売所「大坂ふれあい館」を建設・運営。さらに移動販売にも取り組み、高齢化が進む大坂、長谷地区の高齢農家の生きがいつくりや生活環境改善に繋がっている。

そのほか、長谷集落内の連携を深めるため、平成22年度から地域住民を対象とした「長谷おしゃべりクラブ」を毎週水曜日に実施。平成27年末で約260回の実施となった。

・ 谷山集落での取組

平成24～26年度にかけて、南さつま市谷山集落と協働して、遊休地での農作物の生産・販売や、地域内の段々畑を活用した農作業・加工体験、棚畑ライトアップイベントを実施。

これらの取組をきっかけに、地域住民の、農作物や加工品の製造・販売に対する気運が高まり、加工グループの結成や食品衛生法に基づく営業許可取得に発展。今では、ヘチマのたわしやよもぎ団子、生姜の佃煮等を製造し、南さつま市内の直売所や飲食店で販売するなど、コミュニティビジネスとして成立している。

・ 久保集落での取組

平成26年度から、南さつま市久保集落と協働して、復元した耕作放棄地への農作物の作付けや新たな特産品づくり、都市住民との交流活動等を計画・実施している。

また、伝統行事である鬼火焚きをイベントとして活用した地域住民同士の交流促進にも取り組んでいる。

<大学生との連携>

大学生の協力を得ながら上記のようなむらづくり活動に取り組み、鹿児島大学の学生によるボランティアサークル「Free Spot」の設立に繋がった。現在も継続して連

携した活動を実施しているほか、Free Spot独自でも、集落の保全活動の補助やイベントの実施のほか、学習指導と自然体験活動を地元小中学生に提供する「寺子屋プロジェクト」等に取り組んでおり、若者のむらづくりの人材育成が図られている。

2 今後の展望

今後も、地に足を着けて集落の活性化に取り組みたいと考えている。その軸をぶれないようにするため、一つ一つを大切に活動していきたい。

<活動状況写真>



理事長・田代 昌弘氏



(長谷集落) 大坂ふれあい館



(長谷集落) 長谷おしゃべりクラブ



(谷山集落) 集落内の段々畑



(谷山集落) 遊休地への作付け (大学生も参加)



(久保集落) 復元した集落内の棚田